

介護ステーション ぶらんち ニュースレター

8月は「平和」を考える月…

Vol. 92
令和6年8月号

猛暑が続いています。

ただ、一時のあの「熱風」のような感じは落ち着いてきたように感じます。

さて、8月は広島・長崎に原爆投下された月。今年はあれから79年。

21世紀のこの現在も、驚く事に、争いごと、戦争は絶えません。

そして、原爆投下などをちらつかせる言動も、年々、増していますよね。

「平和」はいつ訪れるのでしょうか。

国同士という大きな括りではなくて、

個人間、グループ間、組織間、会社間なども、ささやかな食い違いや誤解からいろいろな問題・課題が発生します。

世の中から「争いごと」が無くなるのは非常に難しいのかもしれません。

しかし、「なくす」努力をひとりひとりがしなくなっては、ダメ！

では、「努力」とは何でしょうか。

私は、話す、聞く、見る、こと。

そして、挨拶。ありがとうございます、を含めた挨拶。

本当に、基本の基、ですが、

出来ない、忘れてしまう、ことが多い今、もう一度、見直し、「平和」を願いたい。



介護業界を盛り上げよう！！

今年も猛暑。

涼しい夏になることは、考えにくい世の中です。

弊社のような在宅介護は、移動があっての仕事。

暑かろうが、雨が降っていようが、雷が鳴っていようが、

雷が降ろうが、サービスに行く、が

無くなることはありません。

介護スタッフを守る仕組み構築が必須です。

このような暑さを経験しますと、

もう待ったなしで、早く仕組み構築に取り掛かる必要があります。

訪問介護というサービスは

港区だから、ではなく、ほぼ全国的に

利用者様の獲得競争が発生しています。

競争が悪い、のではなく、

意味のない競争は出来る限りなくす。

効率的な仕組みを創り、

移動が仕事なっている現状を改善する。

本来のサービスに集中できる環境を構築する。

それは、事業所がある場所から15分圏内の利用者様をまとめて、その事業所に任せること。

特殊な技術が必要なサービスについては、特例とする。

このような仕組みを、市区町村や都県単位で決めていく。

この仕組みは災害時の対応にも役立つ仕組みだと

私は考えています。

競争はあくまで、サービスの質に対しての競争

であって欲しいと願っています。

ぶらんちの今を紹介

ぶらんちでは、
毎週金曜の9:00～10:00
全体ミーティングを開催しております。
何をしているか…

- ①介護職員しごとの心得、という教本を読み合せし、その時の課題に対して、各々の考えていること、思っていることを話し合う
- ②新しいご利用者様サービスの内容報告
- ③既存のご利用者様の身体状況や課題を話し合う
- ④代表から、会社の現状や目指す方向の話
- ⑤介護技術の基本の基、を学ぶ
- ⑥ヒヤリハットの検証(時々)

上記の議事録や動画をアプリを利用し
スタッフ全員共有。
こんなことを肃々としています。